

部分肉

【令和6年5月 公表版】
過去の学科試験

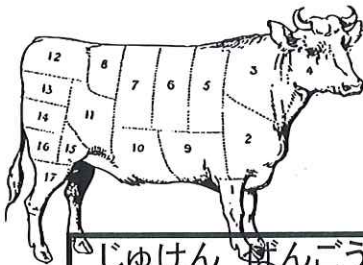
部分肉
初級
牛豚共通

牛豚食肉処理加工業職種 牛豚部分肉製造作業
技能実習評価試験 学科試験

【初級】

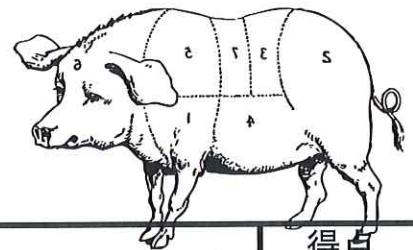
ぎゅうぶたしよくにくしよりかこうぎょうしよくしゅ ぎゅうぶたぶぶんにくせいぞうさぎょう
gyuubuta shokunikushori kakougyou shokushu gyuubuta bubuniku seizou sagyō

ぎのうじっしゅうひょうかしけん がっかしけん
ginoujishshuhyoukashiken gakkashiken



【しょきゅう】

shokyuu



じゅけん ばんごう jyuken bangou	得点
なまえ namae	合否

もんだい は ぜんぶで 20もん です。

Mondai wa zenbu de 20mon desu.

もんだいぶん が ただしい ときは こたえ の らん に ○ を かきなさい。

Mondaibun ga tadashii tokiwa kotae no ran ni ○ wo kakinasai.

もんだいぶん が まちがっている ときは こたえ の らん に × を かきなさい。

Mondaibun ga machigatteiru tokiwa kotae no ran ni × wo kakinasai.

2023

あんぜん えいせい

anzen eisei

No	もんだい	こたえ
	mondai	kotae
1	さぎょう が おわったら くつ の うら も きれい に する。 Sagyō ga owattara kutsu no ura mo kirei ni suru	
2	にく が つめたかった ので あたためて から さぎょう を した。 Niku ga tsumetakatta node atatamete kara sagyō wo shita	
3	ねつ が あった ので しごと に いくまえ に かいしゃ に れんらく した。 Netsu ga atta node shigoto ni ikumae ni kaisha ni renraku shita	
4	にく に ついてい る びょうげんきん は れいとう する と かならず しぬ。 Niku ni tsuiteiru byōgenkin wa reitō suru to kanarazu shinu	
5	しょくちゅうどく に なる と しぬ こと も ある。 Shokuchūdoku ni naru to shinu koto mo aru	
6	さぎょう に なれた ので あんぜんてぶくろ を しな い で さぎょう を した。 Sagyō ni nareta node anzentebukuro wo shinaide sagyō wo shita	
7	まいにち みず を ながす から はいすいこう は そうじ しな い 。Mainichi mizu wo nagasu kara haisuikō wa souji shinai	

にくのちしき

niku no chishiki

No	もんだい	こたえ
	mondai	kotae
8	<p>にっぽんではふつうぎゅうにくはぶたにくよりねだんがたかい。</p> <p>Nippon dewa futsuu gyuuniku wa butaniku yori nedan ga takai</p>	
9	<p>しばうのとけるおんどはすべておなじである。</p> <p>Shibou no tokeru ondo wa subete onaji de aru</p>	
10	<p>しんせんなにくはくうきにふれるとあかるいあかいろになる。</p> <p>Shinsen na niku wa kuuki ni fureru to akarui akairo ni naru</p>	
11	<p>にくのおんどがたかいとにくについているさいきん(ばくてりあ)がふえやすい。</p> <p>Niku no ondo ga takaito niku ni tsuiteiru saikin(bakuteria) ga fueyasui</p>	
12	<p>えだにくはかならずれいとうしてはこぶ。</p> <p>Edaniku wa kanarazu reitou shite hakobu</p>	
13	<p>にっぽんでたべられているにくはすべてがいこくからもってくる。</p> <p>Nippon de taberarete iru niku wa subete gaikoku kara mottekuru</p>	
14	<p>とちくじょうでえだにくはしゅつかまえにけんさをうける。</p> <p>Tochikujou de edaniku wa shukka mae ni kensa wo ukeru</p>	

ぶぶんにく せいぞう の ちしき

bubunniku seizou no chishiki

No	もんだい	こたえ
	mondai	kotae
15	にくのおもさをはかるときはたいらなところにはかりをおく。 Niku no omosa wo hakaru toki wa tairana tokoro ni hakari wo oku	
16	せいけいとはにくをこまかくきることである。 Seikei towa niku wo komakaku kiru koto de aru	
17	はやくさぎょうをおわらせるためにふかめすをしてもよい。 Hayaku sagyou wo owaraseru tame ni fukamesu wo shitemo yoi	
18	ないふのうえにぶぶんにくをおくときけんである。 Naifu no ue ni bubunniku wo okuto kiken de aru	
19	だっこつとせいけいはかならずおなじないふをつかう。 Dakkotsu to seikei wa kanarazu onaji naifu wo tsukau	
20	「ひれ」とは「かた」にあるにくのなまえである。 「Hire」 towa 「kata」 ni aru niku no namae de aru	

部分肉

【令和6年5月 公表版】

過去の学科試験・解答

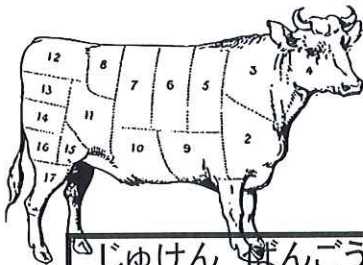
部分肉
初級
牛豚共通

牛豚食肉処理加工業職種 牛豚部分肉製造作業
技能実習評価試験 学科試験

【初級】

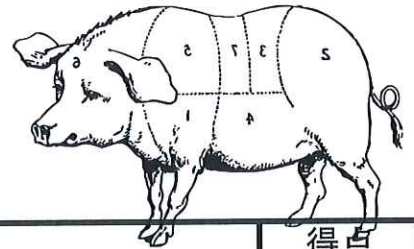
ぎゅうぶたしよくにくしよりかこうぎょうしよくしゅ ぎゅうぶたぶぶんにくせいぞうさぎょう
gyuubuta shokunikushori kakougyou shokushu gyuubuta bubunniiku seizou sagyou

ぎのうじっしゅうひょうかしけん がっかしけん
ginoujissshuuhyoukashiken gakkashiken



【しょきゅう】

shokyyu



じゅけん ばんごう jyuken bangou	得点
なまえ namae	合否

もんだいはぜんぶで20もんです。

Mondai wa zenbu de 20mon desu.

もんだいぶんがただしときはこたえのらんに○をかきなさい。

Mondaibun ga tadashii tokiwa kotae no ran ni ○ wo kakinasai.

もんだいぶんがまちがっているときはこたえのらんに×をかきなさい。

Mondaibun ga machigatteiru tokiwa kotae no ran ni × wo kakinasai.

2023

あんぜん えいせい

anzen eisei

No	もんだい	こたえ
	mondai	kotae
1	さぎょう が おわったら くつ の うら も きれい に する。 Sagyou ga owattara kutsu no ura mo kirei ni suru	○
2	にく が つめたかった ので あたためて から さぎょう を した。 Niku ga tsumetakatta node atatamete kara sagyou wo shita	×
3	ねつ が あった ので しごと に いくまえ に かいしゃ に れんらく した。 Netsu ga atta node shigoto ni ikumae ni kaisha ni renraku shita	○
4	にく に ついて いる びょうげんきん は れいとう する と かならず しぬ。 Niku ni tsuiteiru byougenkin wa reitou suru to kanarazu shinu	×
5	しょくちゅうどく に なる と しぬ こと も ある。 Shokuchuudoku ni naru to shinu koto mo aru	○
6	さぎょう に なれた ので あんぜんてぶくろ を しな いて さぎょう を した。 Sagyou ni nareta node anzentebukuro wo shinaide sagyou wo shita	×
7	まいにち みず を ながす から はいすいこう は そうじ しな ない。 Mainichi mizu wo nagasu kara haisuikou wa souji shinai	×

にくのちしき

niku no chishiki

No	もんだい	こたえ
	mondai	kotae
8	<p>にっぽんではふつうぎゅうにくはぶたにくよりねだんがたかい。</p> <p>Nippon dewa futsuu gyuuniku wa butaniku yori nedan ga takai</p>	○
9	<p>しばうのとけるおんどはすべておなじである。</p> <p>Shibou no tokeru ondo wa subete onaji de aru</p>	×
10	<p>しんせんなにくはくうきにふれるとあかるいあかいろになる。</p> <p>Shinsen na niku wa kuuki ni fureru to akarui akairo ni naru</p>	○
11	<p>にくのおんどがたかいとにくについているさいきん(ばくてりあ)がふえやすい。</p> <p>Niku no ondo ga takaito niku ni tsuiteiru saikin(bakteria) ga fueyasui</p>	○
12	<p>えだにくはかならずれいとうしてはこぶ。</p> <p>Edaniku wa kanarazu reitou shite hakobu</p>	×
13	<p>にっぽんでたべられているにくはすべてがいこくからもってくる。</p> <p>Nippon de taberarete iru niku wa subete gaikoku kara mottekuru</p>	×
14	<p>とちくじょうでえだにくはしゅつかまえにけんさをうける。</p> <p>Tochikujou de edaniku wa shukka mae ni kensa wo ukeru</p>	○

ぶぶんにく せいぞう の ちしき

bubunniku seizou no chishiki

No	もんだい	こたえ
	mondai	kotae
15	<p>にくのおもさをはかるときはたいらなところにはかりをおく。</p> <p>Niku no omosa wo hakaru toki wa tairana tokoro ni hakari wo oku</p>	○
16	<p>せいけいとはにくをこまかくきることである。</p> <p>Seikei towa niku wo komakaku kiru koto de aru</p>	×
17	<p>はやくさぎょうをおわらせるためにふかめすをしてもよい。</p> <p>Hayaku sagyou wo owaraseru tame ni fukamesu wo shitemo yoi</p>	×
18	<p>ないふのうえにぶぶんにくをおくときけんである。</p> <p>Naifu no ue ni bubunniku wo okuto kiken de aru</p>	○
19	<p>だっこつとせいけいはかならずおなじないふをつかう。</p> <p>Dakkotsu to seikei wa kanarazu onaji naifu wo tsukau</p>	×
20	<p>「ひれ」とは「かた」にあるにくのなまえである。</p> <p>「Hire」 towa 「kata」 ni aru niku no namae de aru</p>	×